一般財団法人 Ruby アソシエーション
2015 年度　第 1 回臨時評議員会　議事録

1　開催場所：ハートンホテル東品川 2F スイートピー 2　東京都品川区東品川 4-13-27
2　開催日時：2016 年 3 月 2 日(水) 14:00～16:00
3　評議員総数及び定足数：現在総数 13 名、定足数 7 名
4　出席評議員数：9 名
（本人出席）石川明、及川喜之、大場寧子、後藤裕蔵、
立久井正和、中島宏、羽田昭裕、平松知江子、吉田正敏
（欠席）出田健二、最首英裕、森正弥、吉岡宏
5　出席理事：松本行弘、笹田耕一、橋本明彦、田中和明
6　事務局：前田修吾、横田早百合、徳永翔二、江角俊秀
7　オブザーバー出席：高橋征義、藤原亮彦、佐藤文昭、杉原健司、福田一斎

以上のとおり評議員の出席があり本評議員会は適法に成立したので、出席評議員から後藤裕蔵が議長として選出され開会を宣し、出席評議員から立久井正和、平松知江子が議事録署名人として選出された。先ず、冒頭で松本理事長から挨拶があり、続いて下記議案の審議に入った。

8　内容

■松本理事長挨拶

・皆様のご協力もあり、比較的安定して財団事業が推移している。
・たくさんの協賛会員の方々にご賛同していただいており、Silver から Gold に、Gold から Platinum になっていただける協賛会員様もいらっしゃって、本当に有り難い限りだ。
・安定的に事業を行っていく為に、協賛会員の方々にはメリットの提供を、また開発コミュニティに対する貢献も引き続き実施していきたい。
・幸い予算的にも若干余裕があり、例えば開発プロジェクト助成金の公募を拡充するなど今後の展開を考えているので、評議員の方々のご意見を頂戴したい。

■報告事項 1：2015 年度事業報告書案

議長が事務局に報告を求め、徳永事務局員が別添資料 1 に基づき、先の臨時理事会(2016 年 1 月開催)で審議された 2015 年度の事業実報告書案について報告を行った。

議場より特段の意見、質問はなかった。

■報告事項 2：2015 年度決算見込案

議長が事務局に報告を求め、横田事務局員が別添資料 2 に基づき、先の臨時理事会で審議された 2015 年度の決算見込について報告を行った。

以下、質疑応答。

大場評議員：その他、事業費用の「標準化維持」がほとんどかからなかったというのは、どういうことか。

前田事務局長：標準化維持については外部の方に作業していただいているが、規格に対する問い合わせ対応等や今後の改版を見越して予算を付けており、そちらの対応等が現状あまりないということでこちらの額になっている。

■協議事項 1：2016 年度事業計画書案

議長が事務局に説明を求め、前田事務局長が別添資料３に基づき、先の臨時理事会で審議された2016年度の事業計画書案について説明を行った。

以下、質疑応答。

平松評議員：情報発信事業で「教育分野でのRuby活用」とあるが、具体的な内容としてはどういったことを考えておられるか。

前田事務局長：現状の事例紹介はどちらかといえば企業等でRubyを利用される事例を主に紹介させていただいているが、教育現場でのRubyを使った取り組み等も紹介していきたいと考えている。

大場評議員：「財団公式サイトのリニューアル」とあるが、何か具体的にここをこう変えたいというようなことがあるのか。

前田事務局長：具体的な変更の検討は未だだが、現状のサイトがCMSを使っており若干環境が古くなっているので、もう少し軽い仕組みにしたいと考えており、デザイン等の変更も検討する。

後藤評議員：情報発信に対する効果（ページビューの計測結果等）を見つつ検討していただきたい。

■協議事項２：2016年度予算案

議長が事務局に説明を求め、横田事務局員が別添資料４に基づき、先の臨時理事会で審議された2016年度の予算案について説明を行った。

以下、質疑応答。

吉田評議員：ビジネスセミナーについて地方で開催するというお話があったが、予算を見ると東京、大阪、松江しか記載がない。その他の都市での開催の予算についてはどのように考えておられるか。

徳永事務局員：どの都市で開催するかについては未だ決まっていないが、事務局で検討した上で予算案を修正する。

■意見交換

吉田評議員：Rubyの研修講師の派遣事業を行えれば良いのではないか。

及川評議員：講師の方々のプロフィールを公開し、依頼者に選んでいただくかたちも考えられる。

田中理事：教育教材をRubyアソシエーションオフィシャルで出すことはできないか。また、公募型開発プロジェクトについて、例えば「機械学習」などが話題になることが増えているので、そのような特定のテーマに絞って公募してみてもよいのではないか。

前田事務局長：機械学習については、しまねソフト研究開発センターの取り組みなどの動きはあるので、協力して動いていきたいと思う。

及川評議員：教育教材については、例えば「Hour Of Code（アワーオブコード）」にパッケージを提供するようなプロジェクトを起ち上げるなどできれば面白いと思う。

前田事務局長：学生向けの教育に関しては、松江市が来年度から松江市内の全中学校の技術家庭科の授業でRubyプログラミングを教育を実施する予定であり、教材を全て公開し、また教員の皆さんのカリキュラムの手順書も教育委員会が公開している。そのあたりの成果をRubyアソシエーションでも広報し、他の自治体等にも展開していければと思う。

立久井評議員：公募型開発プロジェクトについて、より実践的で、成果のアピールや評価がしやすいようなものの助成も行っていければ良いと思う。

大場評議員：単に公募するだけではなく、「Rubyには今こういう機能が必要だ」「こういうニーズがある」というテーマまで広く募集して、それを参考にして応募することができるというような流れにすれば、より良いものになるのではないか。先ほど話題にあがった「機械学習」などについても、その一つとして出てくるようなテーマだと思われる。

石川評議員：安定版保守について、脆弱性対応だけでももう少し期間を延ばせれば良いのではないか。

大場評議員：Ruby アソシエーションのホームページに、主に事業者に向けたバージョンアップに関する推奨の記載があると良いと思う。

及川評議員：バージョンアップの推奨と同時に、同じものを使い続けたいというのは事実としてあるので、そういった保守をしている会社を紹介するなどの繋ぎはあると良いと思う。

立久井評議員：試験事業について、他の IT 関連の試験受験者数と比較して、受験者数の目標について再検討し、目標を再設定することが重要ではないか。それに伴って、受験者数を増やすための取り組みを積極的に考えていければ良いと思う。

前田事務局長：海外の受験者数も増やしていけないかと考えている。

立久井評議員：ビジネスセミナーについて、費用対効果を考えると、地方でのビジネスセミナーを増やすよりも、東京でのビジネスセミナーの回数を増やしたほうがよいのではないか。また、例えば教育機関だけを集めたセミナーというのも良いかもしれない。

前田事務局長：セミナーの規模、回数、内容含め事務局で検討していきたい。

後藤評議員：Ruby 技術者認定試験について、現在「version 2.1」という表記だが、新しいバージョンへの対応の仕方も検討しつつ、例えば「version 2」または「version 2.x」などの表記でよいのではないか。

以上のような意見に紐付いて、各評議員、監事、事務局、及びオブザーバ間で活発な意見交換が行われた。

上記の議決を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

2016 年 3 月 2 日

一般財団法人 Ruby アソシエーション評議員会

議　　長　　後藤　裕蔵　印

議事録署名人　　立久井　正和　印

議事録署名人　　平松　知江子　印

別添資料１

2015 年度（第 5 事業年度）

「事業報告書」
（案）

一般財団法人 Ruby アソシエーション

１　事業の概要

2015 年度の当財団の活動は、Ruby 安定版保守業務の継続やコミュニティ向けのイベント主催など既存事業を引き続き実施しました。また 2014 年度から実施している Ruby Association Certified Ruby Programmer version 2.1 に対して受験者にとってより試験を受けやすい環境を構築することを目指し様々な取り組みを行いました。

当財団は、その目的である Ruby 関連のプロジェクトやコミュニティ、ビジネスの関係をより良好なものとし（「Ruby Eco System」の構築）、ビジネス分野における Ruby の利用に関する諸課題の解決に取り組みました。

本書では当財団の 2015 年度の実施状況について報告します。

２　体制及びその変更

１）評議員

2015 年度評議員

・石川 明　　㈱日立ソリューションズ
・出田 健二　　㈱まちづくり三鷹
・及川 喜之　　㈱セールスフォース・ドットコム
・大場 寧子　　㈱万葉
・後藤 裕蔵　　㈱ネットワーク応用通信研究所
・最首 英裕　　㈱グルーヴノーツ
・立久井 正和　㈱インターネットイニシアティブ
・中島　宏　　㈱DTS
・羽田 昭裕　　日本ユニシス㈱
・平松 知江子　㈱富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ
・森　正弥　　楽天㈱
・吉岡　宏　　㈱テクノプロジェクト
・吉田 正敏　　富士通㈱

２）理事

・代表理事理事長　松本 行弘
・副理事長　　井上　浩
・理　事　　山根 泉
　　橋本 明彦
　　田中 和明
　　笹田 耕一

３）監事、顧問及び事務局

・監　事　　今岡 正一（公認会計士）
・顧　問　　松浦 正敬 松江市長、溝口 善兵衛 島根県知事

・事務局　　前田修吾（事務局長）が事務局業務全般を統括し、常勤スタッフ2 名の他、松江市、島根県による人的支援によって運営しました。その他、事例収集のため外部のライターと、規格文書の保守および改訂の作業のため外部の専門家と契約を行っています。

4）評議員選定委員会

・委員長　立久井 正和（評議員）
・委　員　今岡 正一（監事）、横田 早百合（事務局員）、
田代 秀一（外部委員）、高橋 征義（外部委員）

3　実施事業

1）公募型開発支援プロジェクト

Ruby 及び周辺環境の改善を目的に Ruby 処理系、ライブラリ及びフレームワークに関連する開発プロジェクト（既存のソフトウェアを改良するプロジェクトを含む）を公募し、グラント委員会で選考の結果、以下 3 件のプロジェクトを採択しました。

いずれも 2016 年 3 月 31 日までに開発を終え、その成果を公開します。

・応募件数：8 件（国内 4 件）
・採択件数：3 件

①採択者：斎藤 ただし	プロジェクト：CRuby組み込みライブラリRationalの最適化
CRuby の Rational 実装を最適化し、全面的な速度の向上を目指します。上流へのマージを目指し、それが可能であるパッチを作成します。	
②採択者：Victor Shepelev	プロジェクト：reality gem
Reality provides easy access to "common" world knowledge (like geography, currencies, movies, historical events and people, weather and so on). It utilizes multiple open data sources, like Wikipedia, OpenStreetMap, TheMovieDatabase, and presents consistent, integrated approach to various aspects of data.	
③採択者：Sameer Deshmukh	プロジェクト：FFTW and GSL extensions for NMatrix
NMatrix is a dense and spare matrix linear algebra library for ruby by SciRuby. It supports an extensions interface that allows interfacing of various high speed C libraries with nmatrix data types by creating new gems that bind these libraries (like BLAS or LAPACKE). Extensions like nmatrix-lapacke are already in existence. This project will aim to create two new extensions for nmatrix. One for interfacing nmatrix with FFTW (Fastest Fourier Transform in the West) and another for interfacing with GSL (GNU Scientific Library). Both these extensions will be released as nmatrix-fftw and nmatrix-gsl gems respectively by the end of the grant term.	

２）Ruby安定版保守事業

ユーザーが安心して Ruby を利用できる環境を構築するため、Ruby 安定版の保守事業を実施しています。事業仕様策定後に業務を外部機関に委託することとし、委託先の選定に際し公募を行った結果、昨年度に引き続き宇中村宇作様を委託先に決定しました。委託期間は 2016 年 3 月 31 日までです。また 2015 年度も引き続き、アメリカの非営利組織である Ruby Central より本事業に対して助成金の交付を受けました。

３）Rubyに関する情報発信事業

（１）Webでの情報発信

協賛会員をはじめ、Ruby をビジネス利用する企業に利用事例作成編集の担当スタッフが当該企業担当者に直接面談し、概要情報と詳細情報の作成を行いました。これらの情報は、利用時の背景事情、適用されたビジネス・システム分野やその特性など、利用企業のみならずエンドユーザ(企業や個人の場合あり)の損益にも深く関わる場合があることから、公開前に利用企業等による内容確認を実施し(その際にエンドユーザに了解を得ることもあった)、関係者合意の上で財団ホームページに掲載しました。2015 年度は新たに 8 件の利用事例を紹介しました。

2015 年度　新規掲載企業	テーマ
株式会社日立ソリューションズ	コマンドラインツールを Ruby でクラウド化
株式会社日立ソリューションズ	メインフレームのマイグレーション。レガシー資産を活かしつつ、オンラインを使いやすく
Sansan 株式会社	名刺管理サービス「Eight」のサービスプラットフォームに Ruby を採用
株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ	フィールドワークとワークショップのためのツール
株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ	インシデント管理「サービスデスクシステム」
株式会社モンスター・ラボ	「暮らしの新しい市場をつくる」ユーザーのライフスタイルに根ざした新規サービスを Ruby で開発
株式会社ウィルウェイ	社内リーンスタートアッププロジェクトを Ruby で推進
株式会社パソナテック	「はたらく」をもっと自由に。時間や場所にとらわれない自由な働き方を Ruby で実現

（２）RubyWorld Conferenceの開催

別添資料 *RubyWorld Conference 開催報告書

（３）Ruby ビジネスセミナー

当財団の単独主催、又は関係機関との共催、協力を得てビジネスセミナーを開催致しました。これらのセミナーでは、Ruby の利用状況と今後のビジネストレンドをはじめ、開発現場で必要とされる技術情報など、開催地の状況に応じた話題提供をすることで参加者のニーズに合わせたセミナー機会を提供しました。また、セミナー後の質疑応答やセミナー後の意見交換の場など、Web 上だけではない「リアルなビジネス交流」の機会を提供しました。

各セミナーでは参加者にアンケートを実施し、情報発信事業に対する評価と当財団への要望も意見集約し、今後の事業内容の検討にも活用しています。

開催時期、会場	開催テーマ	来場者数（名）
2015 年 6 月、東京	Rails 以外での Ruby を考える	60 名
2015 年 9 月、松江	ビジネスセミナー　広報活動を学ぶ	11 名
2016 年 1 月、大阪	IoT とワークライフバランス	51 名
2016 年 2 月、東京	Ruby Business Users Conference	78 名
2016 年 3 月、広島	Hiroshima Ruby Conference	

（４）ジョブボード

Ruby の求人情報を掲載できるジョブボードを開始しました。Ruby アソシエーションの協賛会員を中心とした Ruby の求人情報を掲載しております。（非会員企業も求人掲載可能）

４）Ruby技術者認定試験事業

2015 年度はversion2.1 向けの試験参考書を充実させより受験者が効率的に学習できるようになりました。また学生向けの学割制度を導入するなど若年層の金銭負担を減らし受験しやすい環境を目指しました。

認定者は、Ruby技術者としての技術力を公正に評価され、高い水準のRubyによるシステム開発能力を持つことを認定されます。認定によりRubyベースでシステム開発を行ううえで必要な基礎的な知識と応用力をもつことをアピールすることができます。

試験の合格者は、当財団が「Ruby Association Certified Ruby Programmer」として認定します。現在は、国内(試験区分：Silver、Gold)、海外(試験区分：Silver)で実施しており、 2012 年 10 月より当財団が直営実施(CBT受験環境、オペレーションはプロメトリック社に委託)しており、安心して受験いただける環境を提供しています。

５）事業者認定事業

従来から実施している認定システムインテグレータプログラム(Ruby の高い技術力を持った企業を認定)に加えて、2012 年 10 月から認定教育機関プログラム(Ruby の教育をおこなう高い技術を持った企業を認定)、認定サポート事業者プログラム(Ruby のサポートサービスを提供する高い技術を持った企業を認定)、及び認定クラウドサービス事業者プログラム(Ruby アプリケーションの運用に適したクラウドサービス(IaaS、PaaS)をおこなう高い技術を持った企業を認定)の各プログラムを実施しています。2016 年 1

月 27 日時点での認定企業数は以下のとおりです。

認 定 種 別	Gold	Silver
認定システムインテグレータプログラム	27(21)	66(67)
認定教育機関プログラム	3(3)	1(0)
認定サポート事業者プログラム	2(2)	―
認定クラウドサービス事業者プログラム	3(3)	1(1)

※( )内は前年度数

6）協賛会員事業

・会員資格

法人、任意団体及び個人

・会員種別、会費

年会費　1 口　10 万円（4 月を開始月とします）

①Platinum Sponsor　　5 口以上（50 万円以上）

②Gold Sponsor　　2 口以上（20 万円以上）

③Silver Sponsor　　1 口以上（10 万円以上）

2016 年 1 月 27 日時点での協賛会員数は、以下のとおりです。

Platinum： 年間 5 口以上	Gold： 年間 2 口以上	Silver： 年間 1 口以上
13(11)	18(21)	49(45)

※( )内は前年度数

別添資料２

2015年度　一般財団法人Rubyアソシエーション　決算見込　2016.1.27　単位：千円

		2015年度　予算①	2015年度　決算見込②	②－①
1　売上高				
	1）Ruby技術者認定試験	14,187	13,329	-858
	2）事業者認定事業	2,250	2,680	430
	3）その他事業収入	1,439	1,559	120
	小計	17,876	17,568	-308
2　特別利益（協賛金、寄附金）				
	1）協賛会員	14,800	14,680	-120
	2）寄附金	106	135	29
	3）その他	0	5	5
	小計	14,906	14,820	-86
3　雑収入				
	1）預金利息　等	2	7	5
4　売上原価				
	1）Ruby技術者認定試験	5,734	5,363	-371
	2）事業者認定事業	540	164	-376
	3）その他	0	0	0
	小計	6,274	5,527	-747
5　その他、事業費用				
	1）公募型開発プロジェクト	1,500	1,505	5
	2）Ruby安定版の保守業務等	3,756	3,958	202
	3）Web活用（情報発信事業）	495	270	-225
	4）RubyWorld Conference開催	1,300	1,300	0
	5）ビジネスセミナー開催　等	1,500	1,170	-330
	6）標準化維持	500	68	-432
	小計	9,051	8,271	-780
6　役員報酬				
	監事報酬	600	600	0
	小計	600	600	0
7　販売費及び一般管理費				
	1）職員人件費	8,400	8,613	213
	2）賃借料（事務所＋駐車場）	1,140	1,107	-33
	3）旅費交通費（出張費）	900	933	33
	4）通信運搬費（電話代、郵便代）	60	79	19
	5）消耗品費（事務用品他）	144	222	78
	6）会議費	10	5	-5
	7）使用料	50	59	9
	8）租税公課（消費税、印紙代）	753	618	-135
	9）手数料	360	321	-39
	10）委託費	3,000	3,000	0
	11）報償費	0	0	0
	※諸会費			0
	※雑費	500	112	-388
	小計	15,317	15,069	-248
8　総収入		32,784	32,395	-389
9　総支出		31,242	29,466	-1,776
10　税引前当期純利益		1,542	2,929	1,387
11　当期法人税		0	0	0
12　当期純利益		1,542	2,929	1,387
13　利益剰余金		30,542	37,644	7,102
		（29001＋1542）	（34715+2929）	
※協賛会員数				
	Platinum Sponsor（50万円）	11	*13*	2
	Gold Sponsor（20万円）	23	*18*	-5
	Silver Sponsor（10万円）	47	*49*	2

1売上高

	単価	個数	他　係数	合計	
1）Ruby技術者認定試験	**13,329**	**1**	**1**	**13,329**	
2)事業者認定事業				**2,680**	
SIer認定	50	49	1	**2,450**	
クラウド認定	50	1	1	**50**	
教育認定	50	2	1	**100**	
サポート認定	50	0	1	**0**	
アップグレード	20	1	1	**20**	
途中入会	30	2	1	**60**	
3）その他事業収入				**1,559**	
松江ラーメン	45	1	1	**45**	
認定テキスト使用料	65	1	1	**65**	
ビジネスセミナー	140	1	1	**140**	有料セミナー：2,000円×70人
RubyCentral	1,188	1	1	**1,188**	
JIS規格等著作物印税	121	1	1	**121**	JIS規格印税

2特別利益

				14,820	
協賛会員P	500	12	1	**6,000**	
協賛会員G	200	19	1	**3,800**	
協賛会員S	100	46	1	**4,600**	
途中入会	280	1	1	**280**	Silver3社、GoldからPlatinumへ1社
			協賛会費収入合計	**14,680**	
個人寄付	5	27	1	**135**	
自動販売機寄付	5	1	1	**5**	
海外寄付	1	0	1	**0**	
			寄付金合計	**140**	

4売上原価

	単価	数量	係数	合計
1）Ruby技術者認定試験	5,363	1	1	5,363
2)事業者認定事業	164	1	1	164
3)その他				0

5その他事業費用

	単価	数量	係数	合計
1）公募型開発プロジェクト				1,505
助成金	1,500	1	1	1,500
送金手数料	5	1	1	5
2）Ruby安定版の保守業務等				3,958
安定版保守の委託	303	12	1	3,637
lby-lang.orgサーバ利用料（@＝$）	27	12	1	322
3）Web活用（情報発信事業）				270
記事作成委託	270	1	1	270
4）RubyWorld Conference開催				1,300
負担金	1,000	1	1	1,000
Ruby Prize	300	1	1	300
5)ビジネスセミナー開催　等				1,170
会場借り上げ	423	1	1	423
講師旅費	746	1	1	746
6）国際標準維持				68
	68	1	1	68

6役員報酬

	単価	数量	係数	合計
今岡監事	50	12	1	600

7販管費

	単価	数量	係数	合計
1）職員人件費				8,613
一式	8,613	1	1	8,613
				0
				0
2）賃借料（事務所＋駐車場）	1,107	1	1	1,107
3）旅費交通費（出張費）	933	1	1	933
4）通信運搬費（電話代、郵便代）	79	1	1	79
5）消耗品費（事務用品他）	222	1	1	222
6）会議費	5	1	1	5
7）使用料	59	1	1	59
8）租税公課（印紙代）※消費税別	21	1	1	21
9）手数料	321	1	1	321
10）委託費	750	4	1	3,000
11）報償費	0	0	1	0

消費税（租税公課）

	課税売上高(A)	①（A×0.08）	係数	納付税額
合計				**597**
技術者認定試験事業	12,342	987	0.5	494
事業者認定事業	2,481	199	0.5	99
松江ラーメン	42	3	0.5	2
テキスト使用料	60	5	0.5	2

別添資料３

一般財団法人 Ruby アソシエーション

「2016 年度　事業計画書」
(案)

2016 年 4 月 1 日から
2017 年 3 月 31 日まで

2016 年 3 月 31 日
一般財団法人 Ruby アソシエーション

目　次

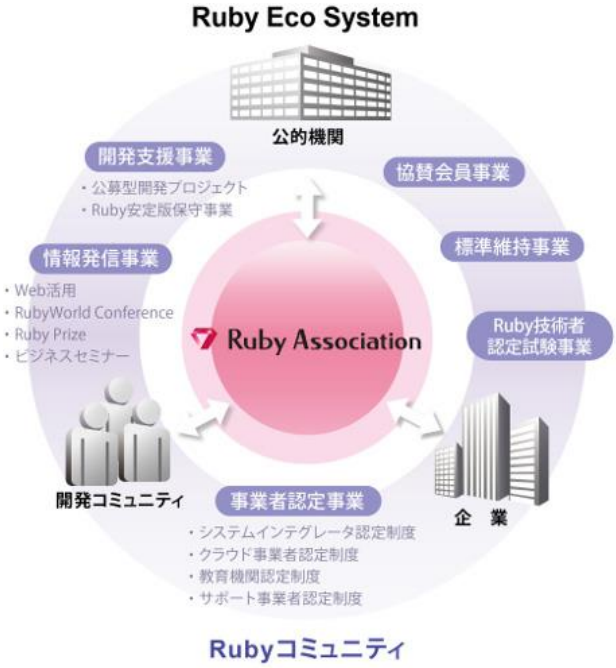
はじめに　・・・

はじめに

一般財団法人 Ruby アソシエーション（以下、「当財団」という。）は、Ruby の普及、発展と、ビジネス利用の拡大を目的として、2015 年度は、協賛会員などの支援のもと、公募型開発支援プロジェクト、安定版の保守事業、情報発信事業、技術者認定試験事業、並びに事業者認定事業に取り組んで参りました。

当財団を支援する協賛会員も順調に増えるなど、持続可能な産業循環である「Ruby Eco System」が確実に拡がっています。

この「Ruby Eco System」をより強固なものにするために、当財団は、Ruby に関係する開発コミュニティ、企業及び支援機関の良好な関係を築き、Ruby を利用される多くの皆様の発展に寄与できるよう、2016 年度も様々な事業に取り組みます。



1　組織体制

1）評議員

引き続き評議員 13 名の体制で、法令、定款に定める権限を行使します。

2）理事

引き続き理事 6 名の体制で、定款の定めるところにより財団を運営します。

3）スタッフ

常勤スタッフ 2 名の体制を継続致します。その他、必要に応じて非常勤スタッフを活用するとともに、評議員輩出企業及び松江市、島根県による人的支援によって運営します。

2　実施事業

1）Ruby 開発及び、その他支援事業

（1）公募型開発プロジェクト

Ruby 及び周辺環境の改善を目的に Ruby 処理系、ライブラリ及びフレームワークに関連する開発プロジェクト（既存のソフトウェアを改良するプロジェクトを含む）に対し、助成金を交付します。

（2）その他の助成

用途を限定しない助成金の申請窓口を設け、開発用の設備購入費用やサービス利用料、カンファレンスや開発会議への参加費用など、「公募型開発プロジェクト」以外の幅広い活動に対する助成を行います。

（３）Ruby 安定版保守事業

Ruby を安心して利用できる環境の提供と、開発コミュニティが Ruby の新たな機能開発に集中できる環境づくりを目的に、Ruby 処理系の保守を行います。

（４）www.ruby-lang.org サーバー運営費支援

Ruby コミュニティが運用している www.ruby-lang.org のサーバー運営費に対して資金面での支援を行います。

２）情報発信事業

（１）Ruby 情報提供

①利用事例の紹介

これまで知られていなかった Ruby 利用事例を発掘し、充実した事例紹介の提供に努めます。この事例紹介では、日本 OSS 推進フォーラムなど関係機関と連携し、取り組みます。

②技術情報の紹介

現在提供する「Ruby の導入から開発・運用に至るまでに必要とされる一連の情報」の精度向上に努めます。古くなった情報については部分的な更新や削除を行います。

③教育分野での Ruby 活用

Ruby の教育分野での取組みに対して情報発信を行います。若い世代に対して Ruby 学習者の裾野を広げていきます。

（２）RubyWorld Conference 2016

2016 年は、11 月 3 日（木）、4 日（金）に島根県松江市にて開催します。
当財団を中心に松江市、島根県、島根大学などで構成する RubyWorld Conference 開催実行委員会によって企画、運営をします。

この Conference は、Ruby のビジネス利用を中心とした国内最大のイベントとして評価されています。当財団は、今年度以降も Conference を継続して開催するために、関係機関と協調し、役割を果たします。今年度も、従来同様に「Ruby Eco System（Ruby の持続可能な生態系）」をテーマに、国内外から講演者を招聘、及び発表者を一般公募し、Ruby の先進的な利用事例、最新の技術動向などの様々な情報を発信します。

（３）Ruby Prize

RubyWorld Conference2015 で実施した RubyPrize について、今年度も開催することを松江市等と検討します。

（４）ビジネスセミナー

RubyWorld Conference と同様に、Ruby ビジネスの中心地である東京、大阪、その他の都市で価値ある情報を提供するビジネスセミナーを開催します。

2016 年度も 5 回程度の開催を予定します。

なお、当財団による単独開催のほか、支援企業及び関係機関と連携して開催する場合もあります。

（５）宣伝広報活動

当財団の活動内容を幅広く周知することを目的に国内外における宣伝広報活動を強化します。その取り組みの１つとして当財団公式サイトのリニューアルを実施します。情報を整理して発信することにより財団の目的と活動内容をよりわかりやすく読者に伝えます。また海外向けに英語を中心としたコンテンツの拡充にも努めます。

３）Ruby 技術者認定試験事業

Ruby ベースのシステムを設計、開発、運用するエンジニア、Ruby でシステム提案を行うコンサルタント、Ruby を教える講師などを対象とした認定試験を継続して実施します。試験の合格者は、Ruby 技術者としての技術力を公正に評価され、高い水準の Ruby によるシステム開発能力を有する「Ruby Association Certified Ruby Programmer Gold version 2.1」、又は「同 Silver」として認定します。また、教育機関が本認定試験を積極的に利用する動機となるような情報の提供を行ってまいります。

英語版の「Ruby Association Certified Ruby Programmer Gold version 2.1」を計画します。また、英語以外の多言語提供も視野に入れて市場調査、試験配信を行います。

学割の価格を見直し、学生がより安価に受験できるようにします。

４）事業者認定事業

各プログラムにて認定された事業者、教育機関は、質の高い Ruby に関連したサービスを提供する者として当財団のホームページなどを通じて紹介します。

（１）Ruby アソシエーション認定システムインテグレータプログラム

Ruby 技術者認定試験の Gold 、又は Silver の認定技術者が正社員として 5 名以上所属する事業者を登録申請及び条件審査の後、「Ruby Association Certified System Integrator Gold」、又は「同 Silver」に認定します。

（２）Ruby アソシエーション認定教育機関プログラム

Ruby 技術者認定試験の Gold 、又は Silver の認定技術者が正社員として 2 名以上所属し、教材として「Ruby 公式資格教科書 Ruby 技術者認定試験 Silver/Gold 対応」を採用するか、同程度の内容を含むカリキュラムで、年間 2 回以上講習会などの教育を実施する教育機関を、登録申請及び条件審査の後、「Ruby Association Certified Educational Institution Gold」、又は「同 Silver」に認定します。

（３）Ruby アソシエーション認定サポート事業者プログラム

Ruby 技術者認定試験の Gold 、又は Silver の認定技術者が正社員として 2 名以上所属し、Ruby のサポートサービスを提供する事業者を、登録申請及び条件審査の後、「Ruby Association Certified Support Provider Gold」、又は「同 Silver」に認定します。

（４）Ruby アソシエーション認定クラウドサービス事業者プログラム

Ruby 技術者認定試験の Gold 、又は Silver の認定技術者が正社員として 2 名以上所属し、ユーザが登録したアプリケーションを ISO/IEC 30170 に適合する処理系上で動作させることができるサービスを提供している事業者を、登録申請及び条件審査の後、「Ruby Association Certified Cloud Service Provider Gold」、又は「同 Silver」に認定します。

５）標準維持事業

Ruby の言語仕様は、2012 年春、国際規格（ISO／IEC 30170）に承認されました。当財団は、規格文書の保守及び改訂作業を行います。

６）協賛会員事業

当財団では、Ruby の普及、発展を目指す事業に賛同し、支援いただける会員を募集することで財政基盤の安定化を図ります。募集対象は、法人、任意団体及び個人であり、支援いただく口数に応じて 3 区分を設けています（年会費：1 口 10 万円、4 月を開始月とします）。

協賛会員区分

（１）Platinum Sponsor　　５口以上（50 万円以上）
（２）Gold Sponsor　　２口以上（20 万円以上）
（３）Silver Sponsor　　１口以上（10 万円以上）

2016年度は、Platinum Sponsorとして15社、Gold Sponsorとして20社、また、Silver Sponsorとして55社のご賛同を見込んでいます。

当財団では、ホームページ、メーリングリスト、またビジネスセミナー等を通じて活動趣旨に賛同いただけるよう呼びかけます。

７）寄付事業

上述の協賛会員事業のほか、当財団の事業に賛同、支援いただける方に向けて、「Ruby Association Supporters」と称して寄付を募集いたします。当財団では、ホームページ、メーリングリスト、またビジネスセミナー等を通じて活動趣旨に賛同いただけるよう呼びかけます。

３　関係機関との連携

当財団は、その目的の達成に向けて関係機関との連携を促進します。

１）松江市、島根県

当財団は活動の拠点（主たる事務所）を島根県松江市に置いています。これまでも当財団の活動に賛同、支援いただいた松江市、島根県とは、一層連携を緊密にします。情報発信事業をはじめとした諸事業のみならず当財団の運営面においても支援いただくことで、充実した財団事業に取り組みます。

２）日本OSS推進フォーラム

これまで同様に2016年度も同フォーラムの情報発信事業（特に利用事例の公開）と連携した取り組みを進めます。

３）その他、関係機関

Rubyへの取り組みを進める機関との連携を進めることは、当財団の目的の実現に向けて重要な課題です。特に以下の機関との連携、共同事業を検討します。

①一般社団法人 日本Rubyの会
②福岡Ruby・コンテンツビジネス振興会議
③NPO法人 軽量Rubyフォーラム
④一般社団法人Rubyビジネス推進協議会
⑤Ruby Central
⑥その他、国内外の機関

４ その他関係資料

2016年度予算を別に掲載します。

別添資料４

2016年度　一般財団法人Rubyアソシエーション　予算案　2016.2.29　単位：千円

		2015年度　決算見込①	2016年度　予算案②	②－①
1　売上高				
	1）Ruby技術者認定試験	13,329	15,240	1,911
	2）事業者認定事業	2,680	2,700	20
	3）その他事業収入	1,559	1,427	−132
	小計	17,568	19,367	1,799
2　特別利益（協賛金、寄附金）				
	1）協賛会員	14,680	17,000	2,320
	2）寄附金	135	106	−29
	3）その他	5	0	−5
	小計	14,820	17,106	2,286
3　雑収入				
	1）預金利息　等	7	7	0
4　売上原価				
	1）Ruby技術者認定試験	5,363	8,083	2,720
	2）事業者認定事業	164	300	136
	3）その他	0	0	0
	小計	5,527	8,383	2,856
5　その他、事業費用				
	1）開発及びその他の助成	1,505	3,000	1,495
	2）Ruby安定版の保守業務等	3,958	4,344	386
	3）Web活用（情報発信事業）	270	570	300
	4）RubyWorld Conference開催	1,300	1,300	0
	5）ビジネスセミナー開催　等	1,170	2,175	1,005
	6）標準化維持	68	300	232
	7）広告宣伝	0	2,000	2,000
	小計	8,271	13,689	5,418
6　役員報酬				
	監事報酬	600	600	0
	小計	600	600	0
7　販売費及び一般管理費				
	1）職員人件費	8,613	8,700	87
	2）賃借料（事務所＋駐車場）	1,107	1,140	33
	3）旅費交通費（出張費）	933	900	−33
	4）通信運搬費（電話代、郵便代）	79	120	41
	5）消耗品費（事務用品他）	222	240	18
	6）会議費	5	10	5
	7）使用料	59	60	1
	8）租税公課（消費税、印紙代）	618	728	110
	9）手数料	321	360	39
	10）委託費	3,000	3,000	0
	11）報償費	0	0	0
	※諸会費			0
	※雑費	112	500	388
	小計	15,069	15,758	689
8　総収入		32,395	36,480	4,085
9　総支出		29,466	38,430	8,964
10　税引前当期純利益		2,929	−1,949	−4,878
11　当期法人税		0	0	0
12　当期純利益		2,929	−1,949	−4,878
13　利益剰余金		37,644	35,695	−1,949
※協賛会員数				
	Platinum Sponsor（50万円）	13	15	2
	Gold Sponsor（20万円）	18	20	2
	Silver Sponsor（10万円）	49	55	6

1売上高

	単価	個数	他　係数	合計
1）Ruby技術者認定試験				**15,240**
国内	16.2	804	1	13,025
バウチャー	15.4	36	1	554
ガク割	8.1	134	1	1,085
海外	16.0	36	1	576
2)事業者認定事業	**50**	**54**	**1**	**2,700**
Sier認定	50	54	1	**2,700**
クラウド認定				**0**
教育認定				**0**
サポート認定				**0**
3）その他事業収入				**1,427**
松江ラーメン	3	12	1	**36**
認定テキスト使用料	4	12	1	**48**
有料ビジネスセミナー	2	50	1	**100**
協賛会員向けビジネスセミナー	5	30	1	**150**
				0
RubyCentral	1080	1	1	**1,080**
その他	13	1	1	**13**

2特別利益 **34,106**

協賛会員P	500	15	1	**7,500**
協賛会員G	200	20	1	**4,000**
協賛会員S	100	55	1	**5,500**
			協賛会費収入合計	**17,000**
個人寄付	5	20	1	**100**
自動販売機寄付	3	2	1	**6**
海外寄付	1	0	1	**0**
			寄付金合計	**106**

4売上原価

	単価	数量	係数	合計
1）Ruby技術者認定試験				**8,083**
テスト配信手数料等	5.9	974	1	5,747
バウチャー発行手数料	1.1	12	1	13
クレジット手数料	0.50	780	1	390
海外分	6.05	36	1	218
国内認定証印刷発送委託	0.30	585	1	177
海外認定証印刷委託	0.16	18	1	3
海外発送	2.00	18	1	36
海外版Gold作成費	500	1	1	500
言語化調査・試験作成費、その他	1,000	1	1	1,000
2)事業者認定事業	**10**	**30**	**1**	**300**
3)その他				**0**

5その他事業費用

	単価	数量	係数	合計
1）開発及びその他の助成				**3,000**
公募型開発プロジェクト	2,000	1	1	2,000
その他の助成	1,000	1	1	1,000
2）Ruby安定版の保守業務等				**4,344**
安定版保守の委託	302	12	1	3,624
ruby-lang.orgサーバ運営費支援	60	12	1	720
3）Web活用（情報発信事業）				**570**
記事作成委託	35	12	1	420
他費用	75	2	1	150
4）RubyWorld Conference開催				**1,300**
負担金	1,000	1	1	1,000
Ruby Prize	300	1	1	300
5)ビジネスセミナー開催　等				**2,175**
会場借り上げ（東京、大阪）	220	2	1	440
会場借り上げ（松江）	30	1	1	30
業務委託	1,000	1	1	1,000
協賛会員向けセミナー	0	30	1	0
旅費	30	4	1	120
旅費	75	7	1	525
講師旅費	30	2	1	60
6）国際標準維持	300	1	1	**300**
7）広告宣伝				**2,000**
出雲空港広告	350	1	1	350
サイトリニューアル	1,500	1	1	1,500
その他	150	1	1	150

6役員報酬

	単価	数量	係数	合計
今岡監事	50	12	1	600

7販管費

	単価	数量	係数	合計
1）職員人件費				8,700
一式	8,700	1	1	8,700
				0
				0
2）賃借料（事務所＋駐車場）	95	12	1	1,140
3）旅費交通費（出張費）	75	12	1	900
4）通信運搬費（電話代、郵便代）	10	12	1	120
5）消耗品費（事務用品他）	20	12	1	240
6）会議費	5	2	1	10
7）使用料	30	2	1	60
8）租税公課（印紙代）※消費税別	5	12	1	60
9）手数料	30	12	1	360
10）委託費	750	4	1	3,000
11）報償費	0	0	1	0
雑費	1	500	1	500

消費税（租税公課）

	課税売上高(A)	①（A×0.08）	係数	納付税額
合計				**668**
技術者認定試験事業	14,111	1,129	0.5	564
事業者認定事業	2,500	200	0.5	100
松江ラーメン	33	3	0.5	1
テキスト使用料	44	4	0.5	2